

## 第2回各分科会の会長報告（要旨）

（第3回審議会において開催）

### まちづくり分科会の会長報告（要旨）

P.7 多様性を認め合う取組の推進について

男性リーダーの育成はひとづくりに盛り込んである。女性のまま。

KPIの町内事業者における女性正規雇用率は難しい。

事業所における管理職割合に変更はどうか。

P.8 地域コミュニティの体制について

自治会長の意見が町民の意見ではない発言は、文章表現を事務局で検討。

自治会のあり方、自治会長の任期は具体的に検討。

KPIの自治会加入世帯率は再検討。

P.9 地産地消はこのまま。

P.10 豊かな自然を生かした暮らしの実現

森林組合を記述すべきという意見。具体的には再度検討。KPIについてはOK。

P.11 たたら遺産登録、維持活用について

「日本刀」という文言を入れる。広葉樹の活用は、P.10の森林資源であげる。

会そのものが現実と向き合うのが精いっぱい。

細々したことを今後どう改良・修正していくかが課題である。

### ひとづくり分科会の会長報告

P.12 結婚支援について

男性の未婚率にその年代の男女の人口を加えて具体的に分かりやすくする。

成婚率を加えてはという意見。

P.13 ②出産・子育て支援についてはこのまま。

P.14 ③仕事と生活の調和の実現はこのまま。

P.15 ④ふるさと教育・キャリア教育の推進について

「農業体験」を「農林業体験」に文言を訂正。KPIは高校町内就職者数（率）を削除。

代わりにふるさと教育・キャリア教育の実施率と追記。

高校の卒業後7～8割が一旦町外に出て、2年後、4年後に町内に帰ってきたかどうかを見たほうが良い。

他の分科会関係なく26ページ産業人材の育成、担い手の確保支援のKPIに入れてはどうか。

P.16 ⑤高校・専修学校の魅力化

方向性はこのまま。KPIはしての入学者数も追加。

P. 17 ⑥次世代を担う地域リーダーの育成について

方向性は実践塾を立ち上げてはという意見が全体会。

中間支援組織に含まれるという意味で、方向性はそのまま。

KPI の公民館講座の開催数に加え参加者数も追加。

P. 18 ⑦UI ターンの促進について

方向性はそのまま。5 年後の目指す姿は、「本物の幸せ」を「奥出雲の生活に魅力を感じ奥出雲へUI ターンを希望する者が増えている」と記述した方がよい。

KPI は高齢者・経験者の起業率を入れてはどうかという意見があった。

24 ページ起業・創業の促進に入れてはどうか。

P. 19⑧ 空き家や若者定住住宅等を活用した住宅支援について、KPI は3世代同居住宅数と親元定住数を追記してはどうか。

## しごとづくり分科会の会長報告

前回の分科会の意見が反映されているためこれで概ね良い。

但し、記載内容について多岐にわたるということで実現可能かという意見。

計画としては網羅しているが、あとは事務局に尽力いただくという事で承認。

KPI は、簡略化すべきという意見があった。

以上